

実施報告

令和4年度 学校・図書館・ボランティア連携研修会

【日時・会場等】

○令和5年11月15日（火）13：30～16：30 彦根勤労福祉会館

※オンデマンド配信併用

参加者 計72名

実践報告

【内容】

「学校図書館支援センターの取組」

報告：湖南省教育研究所 所長 法山 由紀子 氏

【報告】

湖南省の学校図書館教育の歩みと「学校図書館支援センター」の取組についてお話しいただきました。湖南省の図書流通システム、センターによる授業支援とその成果の活用、学校図書館の環境整備など、具体的な実践例も交えながら報告いただきました。

【参加者の感想から（抜粋）】

- ・ 図書館利活用の体制づくりの大切さを感じた。湖南省は体制だけでなく同時に授業改善もされており、見通しのある取組だと思った。
- ・ すばらしいと思う。すべては難しいが、とりいれられることは試してみる価値があると思った。
- ・ 学校司書と教諭の連携、司書間の連携、授業支援等、大変勉強になりました。



講演

【内容】

「学校図書館活性化のための連携について」

講師：全国学校図書館協議会 参事 小川 三和子 氏

【講演】

学校図書館の目的と機能についてわかりやすく整理してご説明いただきました。司書教諭、学校司書、ボランティア等の連携について、それぞれにもとめられる役割も踏まえて、どのような連携が考えられるかを、ご自身のこれまでの実践や経験も紹介いただきながらお話しいただきました。

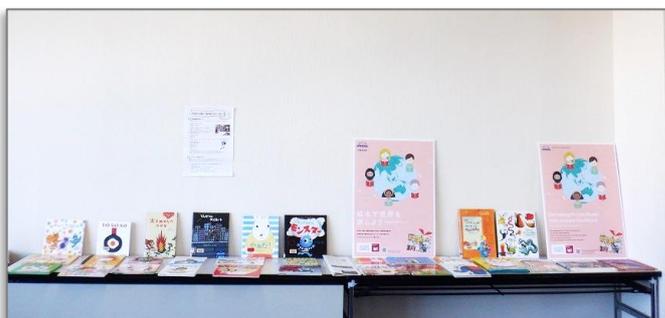
【参加者の感想から（抜粋）】

- ・「レファレンスの受け方」の指導は、とても大切だと思う。「学ぶための活用」という視点を校内にもっと浸透させていきたい。
- ・学校図書館の運営にとって大事なことを、再度一から教えていただいたように思う。日々の仕事の中で流れてしまっていたことにも再度目を向けることができた。
- ・司書教諭、学校司書、ボランティア、公共図書館等々のそれぞれの立場などを改め確認でき、それぞれがよい形で連携することの大切さをよく知ることができた。



情報交換・意見交流

最後に、グループにわかれて情報交換・意見交流を行いました。参加者の皆さんが普段感じておられる課題や学校図書館の運営における連携体制など、異なる自治体や立場の方と活発に情報交換・意見交流をし、発表いただきました。



会場では、県立図書館による新しい児童書や外国語の絵本などの展示があり、多くの方が本を手にとっておられました。

県立図書館の本はお近くの公共図書館に取り寄せることができます。図書館の窓口でご相談ください。



◀ [滋賀県立図書館のこどものページ](#)